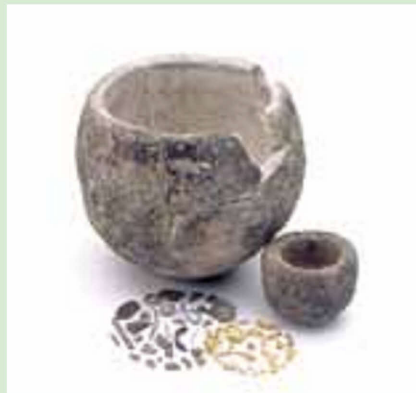


## 飛鳥資料館 春期特別展「いにしへの匠たち—ものづくりからみた飛鳥時代—」

仏教が伝来した飛鳥時代は、文明開化ともいわれる変革の時代でした。巨大な瓦葺き建物や高層の塔、金色に輝く仏像、きらびやかな荘厳具等に象徴されるように、異国の仏教文化が、最新の知識や最先端の技術とともに飛鳥にもたらされました。

仏教文化の興隆と律令国家建設の進展にともない、首都飛鳥の地では、金・銀・銅・鉄等の金属製品をはじめ、土器・瓦等の窯業製品、漆製品やガラス製品等、さまざまな「ものづくり」がおこなわれました。

本展覧会では、飛鳥時代の工房遺跡から出土した考古資料を通して、いにしへの技術者一匠たちの技術体系に迫りたいと思います。飛鳥時代の「ものづくり」の技や知恵をご覧いただくとともに、復元製作実験の成果等、「古代と現代の匠の対話」もお楽しみください。 (飛鳥資料館 丹羽 崇史)



飛鳥池工房遺跡の金・銀坩堝と金片・銀片

会 期：2014年4月25日(金)～6月15日(日)期間中無休

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

記念座談会：5月11日(日)13:30～

ギャラリートーク：4月26日(土)13:30～ 5月11日(日)10:30～ 5月24日(土)13:30～

ホームページ：<http://www.nabunken.jp/asuka> お問い合わせ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)

※2014年4月1日より観覧料が一般 270円になります。

編集 「奈文研ニュース」編集委員会  
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>  
Eメール [jimu@nabunken.go.jp](mailto:jimu@nabunken.go.jp)  
発行年月 2014年3月